

くるむつなぐかがやく ☆広報たかはま

vol.413
令和4年
1月号

4月から町立認定こども園
「cocokara(ここから)」がスタートします
□野瀬町長 新年のご挨拶●P2~3

薬草の町・高浜町の実現に向けて
□特集 3品目の実証栽培に成功しました●P4~5

12歳から84歳まで勢揃いです
□年男さん年女さん 今年の抱負●P6

新年のご挨拶

高浜町長 野瀬 豊



新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、町行政の推進に、格別のご理解、ご指導を賜り、お陰様で無事新年を迎えることができましたこと、心から感謝申し上げ厚く御礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと一昨年同様、新型コロナウイルスの感染症に翻弄された1年ではなかったでしょうか。全国的にみると、緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出自粛や学校への休業要請などが行われたほか、様々な事業が中止となり経済への打撃も著しい状況でした。町内に目を向けますと、今年こそはと開設しました海水浴場が、福井県独自の「緊急事態宣言」が発令されたことを受け、急ぎよ、町内す

べての海水浴場が閉鎖に追い込まれたほか、JR小浜線が減便されるなど町民の皆さまへの影響も大きく、改めて各処でコロナの影響を受けていることを実感させられました。

このような中、暗い話題ばかりでなく、8月にはコロナ禍での開催ということで賛否いろいろな意見があるなか開催された東京オリンピックでは、日本として過去最多のメダル獲得という喜ばしい結果で幕を下ろしました。ほとんどの競技は無観客となりテレビ観戦という形ではありましたが、頑張っている選手を見ることで、コロナ禍で疲弊している国民に大きな感動や勇気を与えてくれたという点においては、開催の意義はあったのではないのでしょうか。

【認定こども園】

町内では、現在園部区内において建設工事を進めております「幼保連携型認定こども園」については、名称を「coco kara (ココカラ)」といたしました。この名称は、公募した中から選定したもので、子どもたちが初めて体験する家庭以外の社会生活の場所となるこども園での様々な体験が「豊かで安

心できるものでありますように」という願いと、「ここから」巣立ち、こども園で得た経験がその後の人生においても力となり、高浜町を大切に思い続けてくれることに繋がる、すべてが「ここから」始まる」という思いが込められています。また、同時に発表しましたロゴについては、未来(上方向)を見る希望に満ちた子どものまなざしを、帽子には自然豊かな高浜町と子どもたちの創造力やワクワク感を表現し、子どもたちに愛着を持っていただけるようカラフルで解りやすいイラストになっています。



ロゴマーク

施設については「教育・保育機能の充実や教育付加」「豊かな空間環境」「安全対策」「地域に開かれた多世代交流や子育て支援機能の充実」等の基本方針に基づき、「ひろばがつながり、回遊性を高める園舎」を基本コンセプトにしております。山、海、浜と高浜町ならではの美しい自然やそこに浮かぶ船

などをモチーフに、子どもたちの毎日の生活が楽しくなるような「さんかく」「しかく」などに形態を単純化して外観の要素を構成し、「わが町のこども園」となるよう4月のオープンを目指して準備を進めております。完成後は子どもたちがのびのびと遊び・育ち、質の高い教育・保育を提供できるようにソフト面も含め充実させ、町民の皆さまから末永く愛着を持っていただける施設となるよう努めてまいります。



高浜町立認定こども園 完成イメージ

【漁港再整備】

また、高浜漁港再整備事業として整備を進めてきました「UMIKARA」が7月にグランドオープンし、オープン以来、たくさんのお客さまにご来場いただいています。

この「UMIKARA」に併設する施設として移転更新を進めている高浜漁港荷捌き施設は、来年度中の完成を目指し建設中です。完成後はこれらの施設を拠点に、漁師の皆さんや漁業関係者、地域商社まちから、行政等が一体となり、高浜町の漁業活性化とまちなかの賑わい創出につなげていきたいと考えております。そして、今後順次リニューアル整備を進めていく予定の高浜漁港ならびに城山エリアが、新たな時代に向けた高浜町のランドマークとなるよう取り組んでまいります。

【高浜シーサイドライン】

現在、住民のライフスタイルや価値観は多様化し、働き方や暮らし方なども大きく変化している状況にあります。このような中、現代人が求める生活様式と豊かな自然環境が融合した「高浜版の居住スタイル・居住空間」を一定エリアでモデル化することで、移住・定住化を進め、地域社会の再生と維持に繋げていきたいと考えております。

具体的には、スマートタウンの整備と合わせ、空洞化が進む中心市街地の再生を進め、今の時代に合わせた居住エリアを再構築するとともに、狭さなどの課題がある既存道路の拡幅、町内道路の複線化を進めていきたいと思っております。

また、まちの資源である、ブルーフラグ認証の若狭和田ビーチをはじめ、白浜海岸から城山漁港エリア、若宮海岸から脇坂公園エリアまでの海岸線を「高浜シーサイドライン」と位置づけ、観光、産業、居住の3つの視点から海辺の魅力を向上させ、あらゆる世代の人々にとって住みやすく、いきいきと生活できる場所となることで、自然と人、人と人、人とまち、ひと・もの・こと等が連携・融合した「居心地の良い、公園のような公共空間」となることを目指していきたいと思っております。

【コロナ対策】

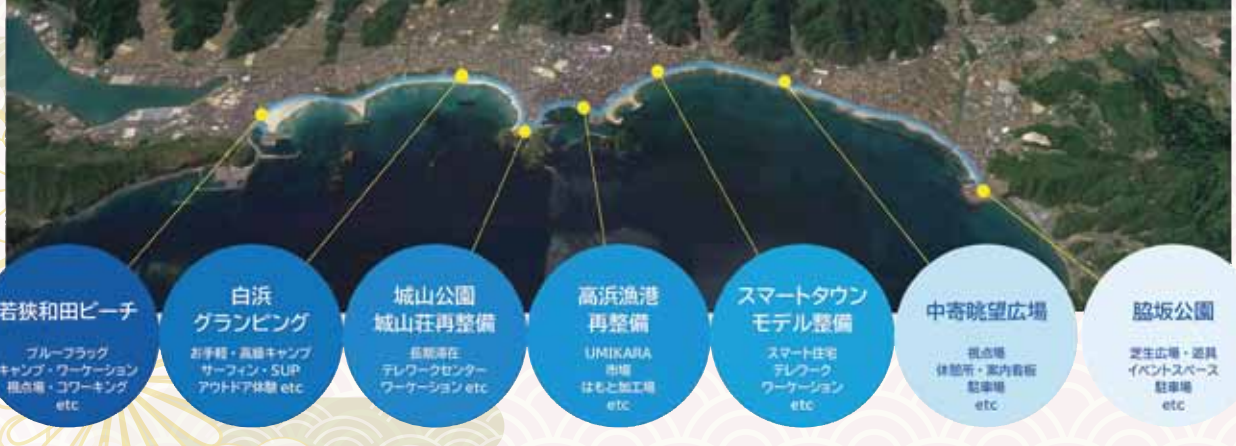
1000年に一度と言われる感染症による災害が始まって2年が経過しました。当初はなすすべもなく多くの方が亡くなるような状況でしたが、治療薬の開発やワクチン接種を行いつつ、行動制限の解除も行われていきます。ゆっくりとではあります、人は新型コロナウイルスを克服しつつあると言えるので

はないでしょうか。とはいえ、第5波でも過去最多の感染者数によって医療機関や保健所はひっ迫してしまいました。また、致死率が10分の1になったとしても、感染者数が10倍になってしまえば同じだけの方が亡くなってしまいうことになり得ます。今後も感染者数をできる限り抑えるためには、基本的な感染対策は継続する必要があることは少なくとも当面は変わりません。市民の皆さまにおかれましては、ワクチン接種後も「屋内ではマスクを装着する」「3密を避ける」「こまめに手洗いする」といった基本的な感染防止の取組みを確実に実行していただきますようお願いいたします。

高浜町としましても、今後も福井県と連携し、感染拡大の抑制対策とアフターコロナも見据えた経済再生対策をしっかりと進めていきたいと思っております。

結びに、1日でも早く町に日常が戻り、本年が皆さまにとって素晴らしい年となりますことを心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたしま

高浜シーサイドライン





実証栽培成功!

ミシマサイコ・シソ・ヤマトトウキ



【ミシマサイコ】

- ・生薬部位: 根
- ・主な薬効: 解熱、鎮痛、鎮静、消炎、強壯を目的に使用
- ・漢方処方: 小柴胡湯、柴胡加竜骨牡蛎湯、柴胡桂枝湯
- ・特徴: ①栽培期間の短縮に成功(約6か月短縮)
②先行自治体と比べて1反当りの収穫量が大きい
③性状(形・色・重量)が良品の標準よりも優れている

【シソ】

- ・生薬部位: 葉及び枝先
- ・主な薬効: 健胃、鎮咳、解熱、発汗、徐痰を目的に使用
- ・漢方処方: 香蘇散、半夏厚朴湯、柴朴湯
- ・特徴: ①成分含量(ペリラルデヒド)が基準値の約5倍以上
②収穫後の茎を土壌改良材として活用できる

【ヤマトトウキ】

- ・生薬部位: 根
- ・主な薬効: 婦人病(月経不順など)の改善、強壯、鎮静、鎮痛、(腹痛など)を目的に使用
- ・漢方処方: 当帰芍薬散、加味逍遙散、四物湯
- ・特徴: ①冷涼地を好むため中山間エリアでの栽培向き
②葉をお風呂に入れると保温効果抜群

【実りの秋・冬 実証栽培の成功】

現在、高浜町が推進している「薬用作物産地化事業」では、令和2年度より新たな栽培手法に挑戦することで「選択と集中」を行い、一定の成果が挙がっています。

公益社団法人東京生薬協会より栽培指導を受け、青葉山麓研究所を中心とした地域の担い手が「ミシマサイコ」「シソ」「ヤマトトウキ」の3品目の実証栽培に成功しました。

なかでも高浜町の「ミシマサイコ」の特徴として、①栽培期間を約6か月短縮したこと、②先行自治体と比べて1反あたりの収穫量が大きいこと、③性状(形・色・重量)が良品とされる標準と比べても優れていることが挙げられ、専門家からも「全国でもトップクラス」と評価されています。

また、これら生薬は漢方薬の原料として出荷され、患者さんの病気治療のために処方されるので、薬用作物栽培の取組み意義や魅力のひとつにもなっています。

生薬(漢方薬原料)の国内シェアは、その8割を輸入品に頼っているのが現状ですが、今回のように、栽培指導員と地域の担い手が良好なコミュニケーションを重ねながら出荷に至る成果を挙げたことは、「薬草の町・高浜町」の実現に向けた大きな一歩ではないでしょうか。

今後もさらなる生産拡大・安定供給を目指して、地域の担い手の方々の活躍が大いに期待されます。

新商品!シソジュース



収穫したシソを使って、ハーバルビレッジでシソジュースにして販売しました!クエン酸入りで体験イベント参加者や登山者に大人気!!

令和2年8月から
僕が栽培を
指導しています



(公益社団法人)
東京生薬協会栽培指導員
九州保健福祉大学薬学部薬学科
渥美聡孝 先生



青葉山麓研究所

今後も生産拡大へ向けた仕組みづくりや、
薬草を活用した商品開発を行ってまいります

体験イベント × 薬草【青葉山ハーバルビレッジ】

空中ヨガなどの体験イベント、登山と「薬草・薬膳」を掛けあわせることで「心と身体の癒し」を。緑豊かな屋外で身体を動かし、薬膳で身体の中から綺麗になりましょう！

体験 × 薬草



各種体験・登山ガイド情報

【空中ヨガ体験】
 所要時間：1時間
 人数：6名様まで
 参加費：1人 3,000円
 受付：随時
 ※ヨガマット無料貸し出し
 ※雨天時は室内

登山 × 薬草



【青葉山登山ガイド】
 所要時間：3時間
 人数：6名様まで
 参加費：1人 3,000円
 受付：随時(厳冬期除く)

自然観察 × 薬草

【自然観察ガイド】
 所要時間：30分
 参加費：無料
 受付：随時



【薬研体験】
 所要時間：30分
 人数：6名様まで
 参加費：1人 1,000円
 受付：随時

※各種体験・ガイドについてのお問い合わせは青葉山ハーバルビレッジ ☎(50)9012 まで

イルミネーションは12月24日(金)、25日(土)のみ

青葉山ハーバルビレッジ クリスマスイベント

- 日時 12月25日(土) 午後5時～9時
- 特設ブース
ぼたん鍋ふるまい、地元野菜直売、クリスマス特別メニュー
- 映画上映『ホームアローン』(午後6時～8時) キャンプイベント(要予約)

詳しくはこちらから

キャンプ情報

<p>■林間サイト</p> <p>1サイト(3名様)：1,000円 1名追加毎+1,000円 (7サイトまで)</p>	<p>■芝生サイト</p> <p>1サイト(3名様)：3,000円 1名追加毎+1,000円 (4サイトまで)</p>
---	---

※キャンプ利用申し込みや詳細情報は青葉山ハーバルビレッジまで

クリスマスキャンプイベント(要予約)

- 日時 12月25日(土)チェックイン正午～ 薬研体験
26日(日)青葉山早朝登山(ガイド付き)
or モーニングヨガ

※先着5組まで

2022

年男さん 年女さん

今年の寅年のみなさんに抱負を聞いてみました



12歳 みきののか 三木乃々佳さん
(大西区)

もっとイラストが上手になりたいので、イラストクラブに入りました。動物やマスコットキャラを描くのが好きです。運動も好きで、今より足が速くなりたいです!!今年もみんなと仲良く過ごしたいです。



24歳 まつみしゅんすけ 松見俊佑さん
(若宮区)

今年から内浦小中学校で体育と部活動の先生をしています。地元が大好きで、得意の音楽で地域を盛り上げていきたいです!仕事も趣味も今できることを精一杯やっていきたいです。



36歳 にしもとげんた 西本源太さん
(菌部区)

昨年は3人目の子どもが生まれ、また新居完成など、おめでたい出来事がいっぱいでした!さらに軟式野球の監督で福井県大会優勝しました!目標は全国大会出場!カッコいい父親を目指します!



48歳 やまとしゅうさく 山本周作さん
(上瀬区)

いろいろな出来事が起こった2021年でした。2022年は36年に一度の「五黄の寅」の年で最強の運気の年でもあるので、リセットして新たな気持ちでスタートしたいです。特別な年、意味のある年にしたいです。



60歳 たぶちゆうこ 田淵祐子さん
(和田二区)

人がたくさん来てくれる楽しい公民館講座やイベントを考えています。今年の寅年を節目に、生まれ変わるつもりで、またピアノや様々なことにチャレンジしていきたいです。



72歳 まつもとみちこ 松本道子さん
(難波江区)

高浜の自然が好きで、散歩したり写真におさめたりしていましたが、最近は畑の土いじりで花木づくりで楽しんでいます。今後も毎日を大切に楽しみたいです。



84歳 あらかこうさく 荒木幸作さん
(中寄区)

第一線から退きましたが、サポート役に徹しています。花屋と文具店の手伝いを現在も続けています。すべてのことに感謝しています!



とら
寅年さんの

今年の抱負

地域に医いこと

みんなが守る、 みんなで育てる高浜の医療

高浜町寄附講座だより



第154回 「AIが変える健康の未来」

■ 発展めまぐるしい 医療分野のAI

先日、こんな医療記事を見つけました。脳動脈瘤を的確に診断するAI（人工知能）が開発・研究されているというものです。

近年、AIの発達はめざましいものがあります。ディープラーニングとあって、多くのデータと情報、例えば脳動脈瘤ですと、大量の脳動脈瘤の画像と正常の画像及びその正解をAIに与えると、AIが自動的に学習し、新たな画像に出会ったときに正確な判断（脳動脈瘤の有無）を出せるように「学習」という技術が開発されています。

心電図検査はすでに解読できる機械が流通していますが、画像診断の分野でこの技術、今後ますます発展が予想されます。

画像診断以外にも、吐く息を分析するだけで病気の有無を言い当ててくれるAIも研究開発中と聞きます。

今、毎年のように行われる健康診断や、定期通院中の採血検査のあり方も、将来変わっているかもしれませんね。

■ 誰でも使える 身近な健康AI

日々身近になっていくスマートフォンでも、健康に関連してAIの技術が生かされた機能やアプリが使える時代となりました。

例えば、毎日の行動パターンから、健康になるためのオススメの行動（食事や運動など）を個別に教えてくれるようなアプリがあります。

多くの方のデータをもとに、アプリ利用者にとって一番良い効果が出るであろう行動を予測してくれるのです。

ほかにも、長年にわたる人の行動パターンと健康・幸福度との関連をAIで確認し、どのような行動パターンが健康で幸福なのかを追求する企業が生み出した、アプリを起動して日常の生活をしているだけで健康度や幸福度が測定できるアプリも開発されています。このアプリでは、「活動的であるほど、人と関わるほど、健康で幸福である可能性」について言及されています。健康的で幸福な動作のパターンがあって、それをAIが指摘してくれるわけです。

この分野もさらに発展すると、自分のスマホで病気の診断や治療方針の相談ができる時代が来るのでしょうか。

■ 今月の「あなた」ができる、 地域に「医いこと」

◆ AIで知るだけでなく、
実際の行動に移す

AIの技術が、我々に健康関係の知見を与えてくれるのは素晴らしいことですが、AIやスマホが直接我々を健康にしてくれることはありません。前述のスマホが測定しているのは、活動や交流です。機械が「覚知」してくれても、結局そこは我々人間が「行動」に移さなければ、健康は実現されません。

AIやスマホがますます発達しても、やはりアナログな活動量や交流の多さが人の健康に大きな影響を与えると考えられますので、本連載でお伝えしてきた日々の交流を、たゆまず推進いただきたいと思います。

（文責：福井大学医学部地域プライマリケア講座／和田診療所 井階友貴）



地域おこし協力隊 伊東大輔活動報告

1年目 (2019年)



2018年12月末に、東京から夫婦で移住。若狭たかはまひなまつりでは夫婦でお内裏様とお雛様の衣装を着てひな行列に参加しました。平成から令和になり、高浜七年祭では大西区からお囃子で参加し、神輿も担がせてもらい、さらに「だし」を持たせていただいたことはとても貴重な経験になりました。広報の取材も大変でしたが、七年祭に参加したことで自分のことを地域の方に知っていただくことができました。思いました。

そのほかにも漁火想、和田de路地祭、秋の例祭、文化祭、保育所運動会、団体紹介などいろんな場所へ取材に行き、各地区のことを少しずつ知ることができたので、2年目以降の活動につなげることができました。

移住後大イベント参加 地区に溶け込めました

2年目 (2020年)



2年目は、「知られていないけど、実はすごい・高浜の人」の撮影をする計画を立て、最低でも1か月に1人撮影する計画を立てましたが、新型コロナウイルス流行により、3か月で見合わせる事になりました。4月には福井県の緊急事態宣言が発令され活動は自粛、イベントも中止になるなど、広報たかはまのイベントカレンダーが真っ白になることもありました。

この年は活動が制限されていた分、ドローンの講習や、今後役に立つ資格を取得したり、撮影に関する動画や冊子を読むなど、今後必要なことを学ぶよい時間になりました。

「高浜の人」撮影開始も 新型コロナウイルス流行

Instagram



ホームページ



フェイスブック



3年目 (2021年)



3年目は、自身初の写真展を開催することができました。新聞、テレビ、ラジオに出演し、「名前は分からないけど写真の人！」として顔を覚えてもらえたことは嬉しかったです。写真、動画撮影、編集の依頼が少しずつ増えて、秋ごろからはフォトライターの仕事も増えました。高浜中学校の生徒さんと協力したインスタ映え写真は町外からも注目を浴び、高浜小学校ではフォトクラブを担当することもできました。そして、写真撮影グループ「kanbey・Lab」に参加し、夏ごろから活動を始めました。

フォトライター、カメラマン(動画) フォトグラファーとして

これから (2022年～)



2022年からも高浜町に住み、活動していきます。夏ごろには中寄区へ拠点を移し、数年後には写真や動画が撮影できるスタジオと、コーヒードリンクが飲めるスペースも作りたいと思っています。撮影以外では、kanbey・Labの管理人のほか、FMまいづるのパーソナリティの研修を受け、1月のデビューを目指して日々励んでいます。

高浜町に新しい地域おこし協力隊の方が来られたら、相談、サポートはもちろん、一緒にお仕事ができるように活動の幅を広げたいと思っています。

3年間、高浜まちづくりネットワークを拠点に、取材をはじめ、各地域のイベント、行事などに参加し、近所さんをはじめ、町内各地域のいろんな方と知り合い、繋がりが増えたことで何か知りたいことがあると、誰かに聞けば、大抵解決するようになりました。

高浜に引っ越してきた日。高浜漁港付近に行くと、きれいな虹が出ていました。このとき歓迎されていたように思ったことは今でも忘れられません。3年間広報たかはままで、大変お世話になりました。ありがとうございます。これからも高浜町で撮影を通して、人との出会いを大切にしていきたいです。

仕事・多拠点・庭・コーヒー



今よりもっと幸せに子育てできる町を目指して…

kurumu レター

GOOD DESIGN AWARD
2019年度受賞

高浜町子育て世代
包括支援センター



夫婦関係のあり方②

今月は先月に引き続き、夫婦について、よりよい関係を維持するために大切な言葉かけやコミュニケーションのコツについて、お話しします。



公認心理師
武内仁恵先生

①「ありがとう」を大切に

仕事に家事にと、現代の夫婦はとても忙しいものです。

お互いに感謝の気持ちを忘れずにいられるといいですね。もし、してもらった家事などに不備があったとしても、まずは「ありがとう」を忘れずに伝えましょう。

②「自分を主語に」を意識する

相手におねがいをするつもりが「たまには掃除してよ!」「休みの日くらい寝かせてくれ」というような言い方になってしまう方もいるかもしれません。

これらの言葉を「掃除してくれたら、(私は)助かる」「(僕は)疲れているので少し休みたい」と、自分を主語にしてみましょう。特に「～してくれたら、助かる(嬉しい)」など、やわらかくポジティブな言葉は相手にも気持ちよく伝わります。

③夫婦間でも「言う必要のないこと」がある

相手のことを心配するがあまり、ついつい必要のないことまで言ってしまった…という経験をしたことがある方も少なくないと思います。

特にお給料や見た目のことなどはデリケートな話題です。夫婦の間柄とはいえ、あまり話題に出す必要はありません。どうしても、家計状況や、健康面を気遣って話題にせざるをえないときは、慎重に伝えましょう。



1月のkurumuカレンダー 休日開館日 30日(日) プレイルーム休館日 21日(金)

新型コロナウイルス感染予防対策のため、保護者の方はマスク着用、出入りの際は手指消毒と、受付にて体温測定をお願いします。

●プレイルーム開館時間 9:00～16:30 ●妊娠・出産・子育て・保育などの相談 8:30～17:15

親子で楽しい時間を

わくわく★ちびっこ
食体験クラブ

【要予約】

27日(木) 10:00～13:00 対象：1歳頃から保育所等入所まで
内容：冬野菜の収穫とクッキング

まるまるあそび

【要予約】

20日(木) 10:00～11:00 対象：3か月頃から1歳頃まで
内容：パネルシアターでお話を楽しもう
肩こり解消ストレッチ

休日開館イベント

【要予約】

30日(日) 10:30～11:30 対象：就学前まで
内容：お父さんと遊ぼう&育児相談会

専門スタッフと一緒に

スマイルマルシェ

【要予約】

18日(火) 10:00～11:30 対象：妊娠中から1歳のお誕生日頃まで
内容：助産師、保健師などによる育児相談、離乳食相談
ベビーマッサージ、ママのボディケア

保育カウンセラー

【要予約】

28日(金) 10:00～11:00 対象：保育所等入所まで
内容：言語聴覚士による発達や言葉についての相談

くるむとそだてる

乳幼児健診や親子イベントでの 託児ボランティア募集

kurumu で実施する健診やイベントで1～2時間、お子さま(0歳～2歳程度)のお相手をしていただける方を募集しています。都合のよい時間に可能な範囲でOKです。

【ボランティアしていただいた方の感想】

- ・赤ちゃんのぬくもりと笑顔に、こちらが元気をもらいます。
- ・ママたちをサポートできることにやりがいを感じています。



子育てに関する相談・問い合わせ・予約は高浜町子育て世代包括支援センター kurumu ☎(72)6154

保健福祉課よりお知らせ

◇申込・問い合わせ／保健福祉課 保健グループ ☎(72)2493

今年度の検診がまもなく終了します



まだ検診を受けていない方、申し込みしていない方はお急ぎください。

集団検診

必要な検診が、2時間程度で受診できます。

事前に申し込みが必要ですので、保健福祉課保健グループまでご連絡ください。

検診日	受付時間	検診会場	検診内容
1月21日(金)	8:30 ~ 10:00	保健福祉センター	胃がん検診(午前のみ)、特定・長寿健診、肺がん検診、大腸がん検診・骨密度検査、肝炎ウイルス検査
	12:30 ~ 13:30		乳がん検診(午後のみ)、子宮頸がん検診(午後のみ) 特定・長寿健診、肺がん検診、大腸がん検診・骨密度検査、肝炎ウイルス検査

個別検診

ご都合のよい日に、指定医療機関で受診できます。まもなく受診期間が終了します。

すでに予約が取れない医療機関もありますので、予約・受診をお急ぎください。

受診期間	受診の方法
1月31日(月)まで	指定医療機関で受診希望日を予約してください。※受診券を持参してください。

※すでにお申し込みされている方には、令和3年5月に受診券をお送りしています。紛失の場合は、保健福祉課で再発行いたします。

大腸がん容器の回収 追加日程

お手元に未使用の大腸がん容器をお持ちの方は、下記の日時に提出してください。予約は不要です。(提出日の4日以内の便を提出してください。)

検診日	受付時間	検診会場
1月13日(木)	8:30~12:00	保健福祉センター
1月20日(木)		
1月21日(金)	8:30~10:00 12:30~13:30	

●対象となる検診や料金に関する
ことは、健康カレンダーをご覧
いただくか 保健福祉課 保健グ
ループ(☎72-2493)までお問い
合わせください。

保健福祉課よりお知らせ

◇問い合わせ／子育て世代包括支援センター kurumu ☎(72)6154

令和4年3月までに不妊治療費助成の申請のご予定のある方は1月中にご連絡ください

町では、不妊治療費の一部を助成しています。

助成には一定の条件があります。また、申請には、医療機関での証明が必要となり手続きに時間がかかる場合があります。スムーズに申請していただくため、手続きについてご説明しますので、申請のご予定がある方は1月中に必ずkurumuまでご連絡ください。

- 対象／令和3年4月から令和4年3月末に、国内の医療機関で受けた不妊治療における保険診療適応外の検査費及び診療費
- 助成内容／1年度につき1回限り、上限30万円 ※原則、福井県の助成制度の利用を優先とします。
- 申請期限／3月31日(木)まで

地域おこし協力隊

伊東大輔の

めぐる四季

地域おこし協力隊のフォトライターとしての活動は12月で最後。めぐる四季も最後となりましたが、これからも高浜の美しい自然、まちの風景や人の暮らしなどを、写真で納めていきます。

最終回
高浜の秋冬



青葉山ハーバルビレッジのイルミネーション



七五三でトトロと一緒に記念撮影(中寄区)



秋が深まり色づく様子(馬居寺)



黄色が鮮やかなイチョウの木(今寺区)



中山寺の真っ赤なもみじ



紅葉を背景にした寒桜(五色山公園)

第1回 高浜町グラウンドゴルフ大会結果 11月13日(土) 中央球場

グラウンドゴルフを通じて生涯スポーツを推進し、町民の健康増進と交流を深めることを目的に第1回大会を開催しました。32名の方が参加され、結果は次のとおりでした。

- 優勝 増田 豊(菌部区)
- 第2位 平尾 武與(宇治区)
- 第3位 橋本 義子(湯谷区)



令和3年度 秋のニュースポーツ体験会を開催しました

本年度は、パラリンピックで注目された「ボッチャ」、コントロールが試される「ストラックアウト」、福井県で誕生した「スティックリング」の3種目を行い、3回の開催で延べ59名の方が参加されました。どの種目も幅広い年代が一緒にプレーし、得点が入るたびに歓声があがりました。教育委員会では、ニュースポーツ用具の貸出や講師の派遣を行っています。お気軽にお問い合わせください。

11月19日(金)、22日(月)、26日(金) 中央体育館



政治家の寄附は禁止、有権者が求めることも禁止されています

みんなで徹底しよう
三ない運動

求めない!

贈らない!

受け取らない!

これらのものも政治家寄附禁止の対象となります。

- ・秘書等が代理で出席する場合の結婚祝 ・入学祝、卒業祝
- ・地域の運動会、スポーツ大会への飲食物の差入
- ・お祭りへの寄附、差入 ・病気見舞い ・お歳暮、お年賀
- ・町内会の集会、旅行等の催物への寸志、飲食物の差入
- ・落成式、閉店祝等の花輪 ・葬儀の花輪、供花
- ・秘書等が代理で出席する場合の葬儀の香典



総務省 なるほど! 選挙「寄附の禁止」

総務省 寄附の禁止

検索

(公財) 明るい選挙推進協会

明るい選挙推進協会 三ない運動

検索

確定申告はe-Taxをご利用ください ◇問い合わせ／小浜税務署 ☎0770(52)1008

新型コロナウイルス感染防止の観点から混雑緩和のため、令和3年分の確定申告会場(税務署会場)は、入場整理券が必要となります。また、スマホ申告の機能が充実し、さらに便利になりました。ご自宅のパソコンやお手持ちのスマホを利用したe-Tax申告をお勧めします。e-Tax(電子申告)の送信方法は、下記の2種類あります。

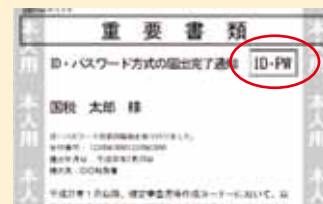
①マイナンバーカードを利用

パソコンからの申告の場合、本年からICカードリーダーライターをお持ちでない方でも**マイナンバーカード対応のスマホ**があれば送信可能となりました。



②ID・パスワードを利用

ID・パスワードの取得を希望する場合、**確定申告をするご本人**が顔写真付きの本人確認書類(運転免許証等)をお持ちのうえ、**税務署の総合窓口**にお申し出ください。



地域包括支援センターよりお知らせ ◇問い合わせ/地域包括支援センター(保健福祉課内) ☎(72)6120

一般財団法人 北陸郵便局長協会から車いすを寄贈いただきました

一般財団法人 北陸郵便局長協会は、平成17年度から北陸3県の地方公共団体に対し、福祉増進に有用な物品を寄贈する公益事業を実施されており、本年度は高浜町が選ばれました。

10月26日(火)に贈呈式を実施し、坂本高浜郵便局長、濱田和田郵便局長より車いす4台を寄贈いただきました。

なお、車いすは高浜町社会福祉協議会の福祉有償運送や町民の皆さまへの貸し出しなど、広く社会福祉を目的とした活動に利用させていただきます。



濱田和田郵便局長 野瀬町長



写真左から赤嶋社会福祉協議会会長、野瀬町長、濱田和田郵便局長、坂本高浜郵便局長



おっかけ。

高浜町のサークルを
ご紹介します！



先生から指導をもらいます



集中して練習(三松センター)



書道教室は楽しいです



硬筆の練習もあります



馬居寺での練習の様子



龍書会(書道)

「龍書会」は、1990年ごろから活動が始まりました。現在の龍書会は、馬居寺で夜の部と昼の部にお稽古が行われています。三松センターの書道教室では夜の部が月3回火曜日に開かれ、14名がお稽古に励んでいます。毎年、秋の町民文化祭と県の選抜美術展に作品を出品しています。活字離れや毛筆離れが多い中、教室では子どもから大人まで楽しみながら書道のスキルを上げる努力をしています。

<企画・取材/高浜まちづくりネットワーク>

JR小浜線津波避難訓練を実施しました

- 日 時 / 11月5日(金) 午前9時50分～10時45分
- 訓練想定 / 午前10時13分、若狭湾沖を震源とするマグニチュード7.2の地震が発生。
地震発生直後より大津波警報が発表され、20分後に和田地区沿岸部に高さ1.7mの津波が襲来する。
- 訓練内容 / 11月5日「津波防災の日」にJR西日本敦賀地域鉄道部と合同により、JR小浜線津波避難訓練を実施しました。
本訓練は、若狭和田駅から若狭本郷駅に向かう途中で地震が発生したという想定で行われ、運転士は電車を緊急停止させ、乗客全員の安全確認を行った後、地震発生後20分で到達する津波に対応するため、ただちに付近の高台(高浜けいあいの里)への緊急避難を決定しました。
避難には時間のかかる災害弱者から順に、スムーズな避難ができるよう手順確認などの訓練が実施されました。
- 参加者 / 和田保育所、自主防災会、小浜警察署等 約70名

津波避難訓練の様子



緊急停車した列車から降りる園児



小浜警察署員による要支援者の搬送



高台への避難(けいあいの里 屋上)

また、高浜保育所では、園児等が町内を散歩中に大地震が発生したとの想定のもと、身の安全を確保するシェイクアウト訓練を実施しました。

その後、若狭高浜病院職員の誘導により、垂直避難として津波避難ビル(若狭高浜病院 屋上)への避難を実施しました。



シェイクアウト訓練

※シェイクアウト訓練とは

自らの命は自ら守るという「自助」の取り組みに重点を置き、地域住民の方々がJアラートによる「大地震」発報を合図に、それぞれの場所で一斉に安全確保を行う防災訓練のこと。



津波避難ビルへ避難する様子

自分の身を守る「安全行動1-2-3」

1. まず低く ⇒ 机の下などに入ります。
2. 頭を守り ⇒ 腕や手荷物などで頭を守ります。
3. 動かない ⇒ テーブルなどにつかまり、揺れが収まるまで待ちます。

訓練は**3**つの安全行動を“その場”で行うだけ!



◀..... 1分程度▶

イラスト提供: 日本シェイクアウト提唱会議

地震が起きたときにとるべき行動

地震発生時には、慌てずにまず身の安全を確保しましょう。また、海岸付近で揺れを感じた場合はすぐに津波が襲来することがありますので、津波警報や津波注意報を待たずに、ただちに高台などに避難してください。詳しくは、高浜町総合防災ガイドブックP7～P8をご覧ください、日頃からの備えを心がけてください。

秋の町内文化祭&作品展示会

2年ぶりの開催で
力作が勢ぞろい

2021年高浜町文化祭が文化館で開催されました。コロナ禍で自粛を求められるなか、なんとか発表と交流の機会を持ちたいとの願いを込め「乗り越えよう夢に向かってこの時間(とき)を」テーマに、2年ぶりの開催となりました。

今回は演舞や演奏の舞台発表を事前に収録し、文化祭当日は小ホールで映像を流し発表されました。初めての試みでしたが、発表の時間に合わせて多くの方が来場され、発表団体の映像を楽しまれました。

今回各公民館では、舞台発表は中止され作品展のみの開催となりました。公民館講座でつくられた作品や、サークル活動、趣味、個人の作品など自慢の作品が所狭しと、展示されていました。白黒写真をカラー写真で再現された作品や、サンドアート、マクラメハンギング、切り絵など、素晴らしい作品が並んでいました。

各公民館の文化祭も例年は舞台発表もあり大変賑わいます。来年はみんなが集まり、いつも通りの文化祭を開催したいですね。

高浜町文化会館

11月6日(土)～7日(日)



▲筆で描かれた作品をじっくり観賞する来場者



▲高浜町文化祭プログラム表紙図案作品



▲文化功労章 / プログラム表紙図案入選者



▲昭和30年代のモノクロ写真をカラー写真にして展示



▲美しい字に魅せられます



▲事前に収録した舞台発表を小ホールで観賞



▲エントランスホールに展示された作品



▲プログラム表紙図案最優秀賞作品



個々の作品が映えます



達筆な書も飾られていました



立ち止まってじっくり見る作品が数多く展示されていました



青郷公民館

11月3日(水)祝～28日(日)



一つ一つの作品を鑑賞中



お祭りを彷彿、竹細工作品



サンドアート(左)、切り絵(右)、欲しくなる作品が多数



和田公民館

11月23日(火)祝～28日(日)



お花の作品がお出迎え



優しいタッチの水彩画



職員さんたちがつくった作品や、地元で有名な「さおり織」



内浦公民館

11月20日(土)～28日(日)

民生委員・児童委員活動を知ろう

ひきこもり支援に関する研修会について

高浜町民生委員児童委員協議会

高野・今寺

地区担当



障害者福祉部会

池田 妙子

高浜町民生委員児童委員協議会は、地域の皆さまとのより良い関係や地域づくりと、それをサポートして下さる専門職の方々と連携強化を図ることを目的に、多方面にわたる研修会を実施しています。

今回は、10月18日(火)に高浜町保健福祉センターで開催された「ひきこもり支援に関する研修会」を受講しましたので、その内容についてお伝えします。

研修会は、午後1時30分から始まり、福井県総合福祉相談所 障がい者支援課 ひきこもり地域支援センター(嶺南サテライト)で、引きこもり支援コーディネーターをされている田中佐苗さんを講師にお招きし、「ひきこもり支援について」と題して、現代の社会的

な問題になっているひきこもりの実態やその支援方法等について講演をしていただきました。

厚生労働省の定義によると、「ひきこもり」とは様々な要因の結果として、学校や仕事などの社会活動に参加せず、他者との交流を避け、6か月以上にわたって家庭にとどまり続けている状態のこととされています(厚生労働省ひきこもり評価・支援に関するガイドライン)に詳しく記載)。ひきこもり推計人数は私が思っている以上に多く、私たちが暮らす嶺南地域においては1000人以上の方がおられることに大変驚き、実情が見えていないことを知りました。

県内の専門機関には、「ひきこもり地域支援センター(ホッとサポートふくい)」と、嶺南地域を対象とした「ひきこもり地域支援センター 嶺南サテライト(若狭健康福祉センター内)」があります。そこでは、ひきこもりに特化した専門的な相談窓口が設置され、ひきこもり状態にある本人やその家族を

対象に相談対応や面接のほか、フリースペースの運営、本人の会、親の会の開催等の業務が行われています。

また講演では、ひきこもっている本人によくみられる状態や本人の気持ち、そして親や家族はどう向き合っていけばよいかを参考文献(斎藤環著「社会的ひきこもり」中高年ひきこもり)をもとに詳しく説明いただきました。ひきこもりの相談は、本人より家族が最初に来られることがほとんどで、まず家族が困っている事に焦点をあてて相談や支援が始まるケースが多いなど、家族支援の重要性について知ることができました。

最後に、今後の課題として、ひきこもりは長期化するほど抜け出しにくくなり、1つの機関だけで支援するのは難しく、様々な関係機関と連携しながら家族全体を支援していくことが必要であること。また誤解や偏見がまだまだ多いため、正しい情報を発信していくことが重要であるとお話がありました。

これから民生委員・児童委員活動を実施するにあたり、ひきこもり支援に関するだけでなく、困り感のある方に関係機関につなげる橋渡しをし、ともに寄り添い支えあうことができるように、またほつとできる地域・人とのつながりを大切にし、活動に取り組んでいきたいと思えます。



講演会の様子(保健福祉センター)

こころの相談 (無料カウンセリング)

要申込

周囲に相談できずに悩み事や心配事を抱えている方、公認心理師が解決する方法を一緒に考えます。

※相談内容の秘密は固く守られます。

●日時／1月25日(火)

午後1時～5時(1人1時間程度)

●場所／保健福祉センター

●カウンセラー／公認心理師

●申込／前日まで

◇申込・問い合わせ／保健福祉課

保健グループ ☎(72)2493

冬期の水道に関するお願い

冬期には水道管が凍結するおそれがありますので、屋外にある水道管の確認をお願いします。特に次のような所では対策が必要になります。

◎日陰で風当たりが強い場所

◎むき出しになっている水道管

■凍結防止の対策

水道管専用の保温材又は布、毛布などを巻き、濡れないようにビニール等を巻いて水道管を保護してください。

■水道管が凍結したときは

熱湯をかけると、水道管が破裂するおそれがありますので、タオルや布を

かぶせ、その上からぬるま湯をゆつくりとかけてください。

■もし水道管が破裂してしまったら

水道メーターから蛇口までの間が破裂したときは、慌てずメーターボックス内にある止水栓を閉めて、高浜町の水道指定工事店に修理を依頼してください。

■検針時における除雪のお願い

積雪時にはメーターボックス周辺が雪で覆われ、検針が困難となるためメーターボックスの上や周辺の除雪に、ご協力お願いいたします。

※上水道区域は偶数月末に、簡易水道区域は奇数月末に検針に伺います。

◇問い合わせ／

上下水道お客様センター

☎(72)3611

償却資産(固定資産税)の申告をお願いします

償却資産とは、個人又は法人で工場や商店を営んでいる方が、土地・家屋を除いたその事業のために用いることができる減価償却資産(構築物、機械・装置、工具・器具・備品など)のことです。

●対象者／令和4年1月1日現在、高浜町内で事業を営み事業用償却資産を所有している個人及び法人

納税と納付のお知らせ

- 町県民税(第4期)
- 国民健康保険税(第8期)
- 後期高齢者保険料(第7期)

納期限

1月31日(月)

口座振替日

1月31日(月)

ふるさと納税として 1,000万円寄附していただきました

高浜町出身で名古屋市の会社役員 澤田大輔さんから、「子どもの金融教育に役立てて欲しい」として昨年1,600万円に続き1,000万円の寄附をいただきました。寄附金につきましては、高浜から世界で活躍できる子どもの育成のため、小中学生向けのビジネス書の充実等に活用させていただきます。また、澤田さんのご厚意に心から感謝申し上げます、感謝状を授与させていただきました。

●申告期限／1月31日(月)
※対象者には12月中旬に申告書をお送りしています。申告の必要があると思われる方で、申告書が届いていない方はお問い合わせください。
◇問い合わせ／税務課

☎(72)7707

固定資産税 手続きはお済みですか？

◇問い合わせ／税務課 ☎(72)7707

固定資産税は、毎年1月1日現在の土地・家屋・償却資産の所有者に課税される税金です。

次の場合は、必ず届出を行ってください。

建物を新築・増築したとき	住宅などを新築・増築し、12月31日までに完成した場合は、翌年度の固定資産税の課税対象となるため、家屋調査が必要です。調査が済んでいない方は、税務課まで連絡してください。
建物を取り壊したとき	12月31日までに建物の一部又は全部を取り壊した場合は、届出をお願いします。取り壊した建物については、翌年度から固定資産税の対象外となりますが、届出がないと課税の対象となることがありますので、届出は早めをお願いします。
建物(未登記)を譲渡したとき	未登記の建物を12月31日までに譲渡(売買・相続・贈与など)した場合は、税務課への届出が必要です。届出がない場合は、前所有者に固定資産税が課税されますので、注意してください。
所有者が死亡したとき	固定資産の所有者が亡くなった年の12月31日までに相続登記が済んでいない場合は、『相続人代表者指定届』を提出してください。



図書館スタッフのおすすめBOOK

「ぼくの!わたしの!いや、おれの!」

作: アヌスカ・アレプス
 訳: ふしみ みさを
 BL出版 2021年発行

ジャングルにすむ5頭のゾウはくだものが大好き。あるとき、高い木の上にとってもおいしいそうなくだものがあるのを見つけました。みんななんとか自分のものにしてようと大騒ぎ。「ぼくの!」「わたしの!」「いや、おれの!」それぞれのやり方で、いろいろな方法を試みますがうまくいきません。そんなとき、5匹のちっちゃなネズミたちがせっせ、せっせと目標のくだもの目指し、力を合わせてくだものに近づいて…。「みんなで?」と気づくゾウたち。一緒に行動しているようで、実はまわりの存在に気づいてなかった!? 単純だけどユーモラス、イラストも楽しく読み聞かせにもぴったりです。



11月1日~30日届出分(敬称略・届出順)

♡ ご結婚おめでとうございます

中田 紘生♡上山 裕美里 (出合区)

★ お誕生おめでとうございます

赤ちゃん(性別) 両 親 (住所)
 成田 実奈(女) 高志・佳央里(和田二区)
 佐藤 新(男) 茂・七菜子 (湯谷区)
 鯨本 三葉(女) 佳弘・菜青 (本町区)
 岩崎 一華(女) 真・千明 (大西区)
 武田 望夢(女) 唯翔・妃菜 (本町区)
 時岡 柚妃(女) 政行・瞳 (立石区)
 兼田 莉羽(女) 陳顕・唯 (東三松区)
 橋本 采空(男) 勝也・麻衣 (大西区)

✿ お悔やみ申し上げます

福本 隆俊(88歳) (西三松区)
 畑手 ツジ(87歳) (宇治区)
 織田 茂(89歳) (菌部区)
 松田 五十三(66歳) (湯谷区)
 井上 直子(93歳) (和田六区)
 山本 清吾(94歳) (出合区)
 西嶋 喜久江(88歳) (東三松区)
 倉野 笑子(83歳) (事代区)
 児玉 英明(62歳) (立石区)
 今井 葉子(89歳) (和田四区)

👤 人のうごき (11月30日現在)

		前月比
【人 口】	10,068人	(-23人)
【 男 】	5,059人	(-11人)
【 女 】	5,009人	(-12人)
【世帯数】	4,298世帯	(-13世帯)

入場無料

まちかどコンサート in 高浜公民館 多目的ホール

福井ゆかりの多彩な音楽家たちが、あなたの街に音楽をお届けする「まちかどコンサート」。高浜公民館の2台のアップライトピアノを使ったアンサンブルを、ぜひ会場でお楽しみください。

- 日時 / 1月23日(日)
 開場:午後1時30分 開演:午後2時(45分プログラムを予定)
- 出演 / 大宅さおり(ピアノ)、山田りか(ピアノ)、山崎智里(マリンバ)、野原広子(ソプラノ)
- 定員 / 50名

※チケットや整理券の発行はありませんが
 右記QRコードから鑑賞優先予約ができます。



主催 / 福井県、(公財)福井県文化振興事業団
 ◇問い合わせ / 高浜公民館 ☎(72)7725

11月分のごみ量 (搬入量)

今月 **355t** **13t増**
 前年ごみ量 **342t**

ごみの出し方は暮らしの便利帳にも掲載しています

おねがい 大掃除の時期です。収集できない布団や長いもの(60cm角以上)は、集積場に出さないでください。わからないことは役場住民生活課又はごみ仮置き場へお問い合わせください。

◇ごみに関する問い合わせ / 役場住民生活課 ☎(72)7703
 仮置き場 ☎080(2956)1380

Calendar table for January 1st to 15th, listing events such as '元日' (New Year's Day), '高浜町成人式' (Matsushima Adult Ceremony), and '高浜町納綱大会' (Matsushima Natsugami Taikai).

Calendar table for January 16th to 31st, listing events such as '日曜介護予防広場' (Sunday Care Prevention Plaza), '産後ケアデイサービス' (Postnatal Care Day Service), and '高浜町納綱大会' (Matsushima Natsugami Taikai).

Legend for event locations and symbols: 休館日 (Closed), 郷 (Matsushima), 郷郷 (Matsushima), 郷郷郷 (Matsushima), etc.

New Year Greeting (謹賀新年) from Kobayashi Driving School (小浜自動車学校), including a photo of a green car and contact information.

Notice regarding COVID-19 and facility closures: '新型コロナウイルスに伴うイベント中止及び施設の休館のお知らせについて'.

Vertical text on the left margin: 広報たかはま 1月号 Vol.413, 発行: 高浜町/福井県大飯郡高浜町宮崎第86号23番地2, etc.